

宮之城町・鶴田町・薩摩町

合併協定調印式

6月21日、宮之城町、鶴田町、薩摩町の合併協定調印式が鶴田町中央公民館で盛大に挙行されました。

調印式には、特別立会人として須賀知事も出席し、3町の議員や合併協議会委員ら約330人の出席のもと、北村信之宮之城町長、井上章三鶴田町長、山口昭幸薩摩町長が、これまで協議してきた46項目からなる合併協定書の調印を行いました。そして、3町長と須賀知事が、がっちり手を取り合い「さつま町」誕生への強い決意を表されていました。

調印後、北村町長が「3町は長い歴史で培った連帯感と信頼関係をもとに、大きな合併より身近な合併を選択した」とあいさつし、また須賀知事は「住民が合併して良かったと思うまちづくりを期待している。県もできるだけ支援したい」と祝辞を述べられました。



合併協定書に調印する3町長



合併協定書を披露する3町長と須賀知事

『さつま町誕生へ向けて』北村町長

平成14年8月に3町による合併準備会を設置してから、任意合併協議会、法定合併協議会へと移行しながら、この間およそ2年の歳月をかけて、合併協定調印式を終えることができたことは、町民の皆様のご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

また、6月定例議会においては、合併関連予算をはじめとして、合併に伴う「廃置分合」関係議案5件を全会一致で可決いただきました。

これを受けて、7月1日に県知事に合併の申請書を提出したところであります。

今後は、9月の県議会での審議など法的な手続きを経ながら、来年3月22日には人口約27,000人、面積約303平方キロメートルの「さつま町」が誕生いたします。

新町の将来像を「人々が織りなす元気で快適な活力のあるまち」と定め、新町誕生後は、新町建設計画やこれまで積み重ねてきた協議の調整方針を最大限に尊重しながら、全国に誇れる「さつま町」を建設していくことが大きな課題になると思います。

そのためには、私たち3町の町民が、共に力を合わせて個性で魅力的なまちづくりに取り組む必要があります。孫子の代まで「住んでよかった」「合併してよかった」と言えるような新しい「さつま町」に向けて、心を一つにしていくことが大事であると思います。

今後、合併までの期間を万全の体制で準備を進めていく必要があります。町民の皆さまのご理解と今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。



6月定例議会合併関連議案全会一致で可決